

リビングラボの参加にあたって

基本的な進め方

Listen!

① まず聞こう、知ろう

- リビングラボの趣旨、企画やテーマの意図、ゲストの講演や企業の説明などを聴き、考えるための基礎知識や新しい視点などを知ろう。
- 話を聴きながら、自分の生活や経験、仕事に照らし合わせて、自分の考えもまとめてみよう。

Talk!

② 自分のことを話してみよう

- テーマについて、私がほしいこと、私がしたいこと、私が困っていることなど、自分のことを口にしてみよう！
- それぞれの考えを聴きあう場なので、「こんな小さなこと」「私の意見なんて」「実現可能性」は気にしないで大丈夫。普段だと「わがまま？」と思うような意見も大歓迎！

Make!

③ 一緒につくりだしてみよう

- それぞれの人のほしいことの共通項や違いを考え、地域で必要とされていることは何か、一緒に考えよう。
- 地域で必要なことを実現するために、どのようなリソース（地域の人のできること、企業の資源、行政の施策、施設など）を活かせるか考えてみよう。
- そこから、地域課題の解決策や、今の企画・活動をより良くする改善策を一緒につくりだそう。

Go Ahead!

④ ふりかえり、次につなげよう

- リビングラボの対話をふりかえり、自分の気づいたこと、感じた可能性などを話してみよう。
- 今日の話し合いを踏まえて、次にできるアクションは何か、話し合おう。

参加にあたって

- 私がほしいこと、私がしたいこと・・・主語は「私」で話しましょう。
- “私”は、好き・嫌い、使いたい・使えないなど本音を歓迎！
- 思いや視点は人それぞれ。自分と違う考えの意見も「なるほど、そういう考えもあるのか」と聴きあいましょう。
- 不安なこと、わからないことは遠慮せずに聞きましょう。
- 一緒に参加したい人がいたら誘って下さい。ともに地域に広げましょう！



日野リビングラボガイド
発行：2019年3月
編集：株式会社エンパブリック

発行・お問合せ先
日野市 企画経営課 戦略係
Tel : 042-514-8038 Mail : senryaku@city.hino.lg.jp

日野リビングラボ・ガイド

地域での暮らしから
次世代サービスを生み出す場を
共につくろう！

Hino
Living Labo

地域の問題が複雑化し、課題解決に新しい発想が求められる中で、
市民、企業、専門職が同じテーブルに座って対話し、
解決策を共に創る「リビングラボ」が始まっています。

市民



多様な視点から
地域を理解する

日々の暮らしで
感じるニーズ、
問題意識



生活現場に
根付いた
アイデア、提案

共に考え、試行し、
学び合うことから
クリエイティブな解決策
が生まれる

現場で新事業を
開発・試行する

企業
専門職



複雑な課題を
深く理解する

解決に役立つ
専門知識、技術、
新商品

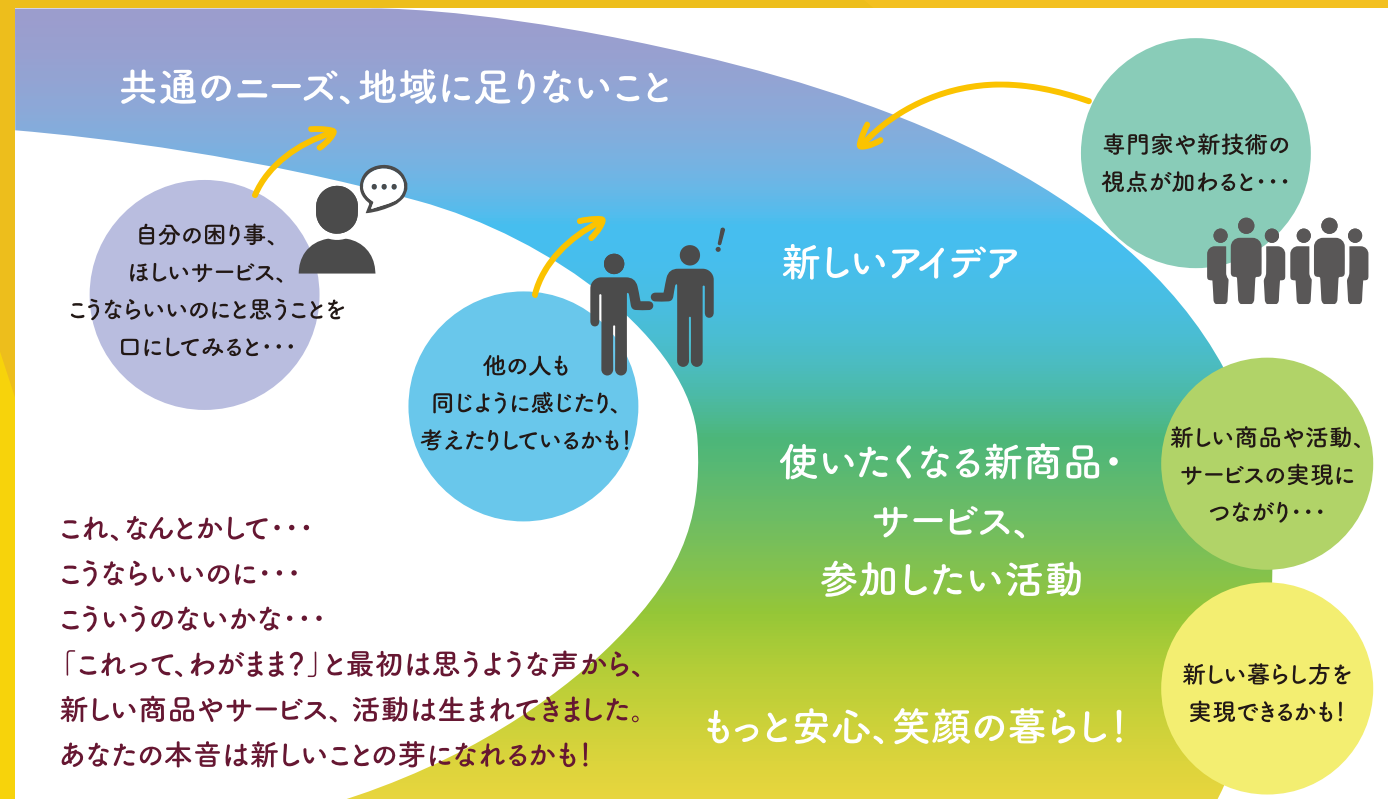


生活の中で
使いやすい機能、
インタフェース等

同じ地域課題に対して、市民、企業、専門職が違う視点からの意見を持ち寄ることで、多面的な理解が深まり、
対話や試行を共に行うことで、お互いから学び合い、生活に根付いた解決を作り出すことができます。

市民にとってのリビングラボ

あなたの“本音”から、新しいことが地域で始まるかも!?
それって、ちょっとワクワクすると思う方、リビングラボに、気楽にご参加ください!



こんな方、ぜひ、ご参加ください!

- 日頃の生活で「こうならないかな」「こんなのあるばいいのに」と、(漠然とでも)感じていることがある方
- 地域で活動をしていて、「こんな困り事がある」「地域で何とかできないかな」と感じたことがある方
- リビングラボの設定テーマ(子育て、介護、まちづくり、未来の交通など)を見て、「関心ある、おもしろそう、他の人の意見も聴いてみたい」と思った方

私でいいの? 何を話せばいいの?

「意見を求められても難しい。良いこと言えないし・・・」
そんな風に最初は思っている方も、大丈夫!
ゼロから考えて発言するのは難しいものですが、説明
や他の意見を聴いて感じたこと、試してみた感想など、
進行役(ファシリテーター)の問いかけに答えていくと、
自然に対話に入れます。

日野リビングラボ 2019年1～3月開催の参加者の声



日頃思っている口にするのがないことを
話せた。“わがまま”を共有することが
こんなに楽しいとは!

困り事やできることを結び付けると、
解決策を生み出せそう。
始めてみたくなった。

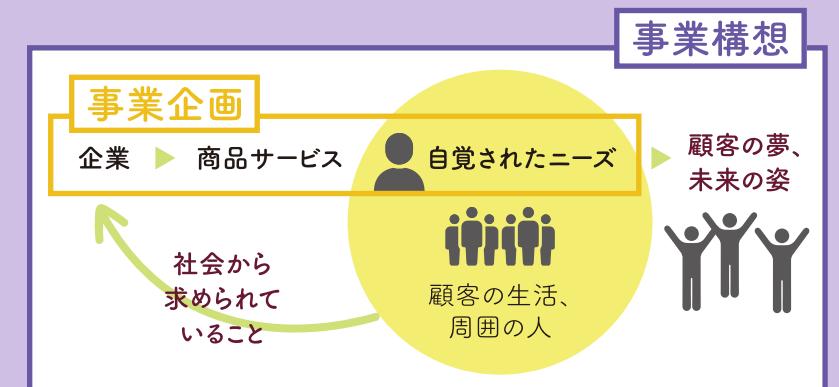
暮らしをよくしていきたいと考える人、
「できること」を持っている人が
身近にたくさんいることに気付いた。

シェア・サービスを使う上で
不安なことを共感できた

企業・専門機関にとってのリビングラボ

対話を通して、見えなかったニーズが見え、
新しいサービスやそれを広げるヒントが見つかるかも!

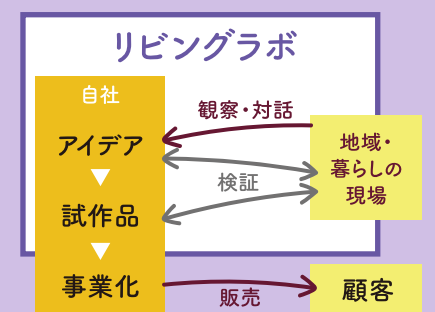
これまで企業や専門機関は、顧客の求めに
応じて商品、サービスを提供してきました。
(事業企画)
しかし、変化が激しく、価値観も多様化し、モノもサービスも溢れる中で、複雑な生活や地域の課題に対応した価値ある新商品・サービスをつくるには、視野を広げ、高い視座からの「事業構想」が求められています。



現場で対話し、生み出していく!

社会課題解決に役立つ新しいコンセプトの商品やサービスを考え、現場で
使えるように開発していくのは、会社の会議室の中ではできません。

- 地域・暮らしの現場に参加し、専門や技術を知る眼から観察や対話を重ねることで、新しいアイデアが生まれてきます。
- アイデアや試作品を現場の中で、市民と共に検証し、ブラッシュアップすることで、ニーズ理解が深まり、本当に必要なことを見出していくことができます。そのプロセスと場を提供するのがリビングラボです。

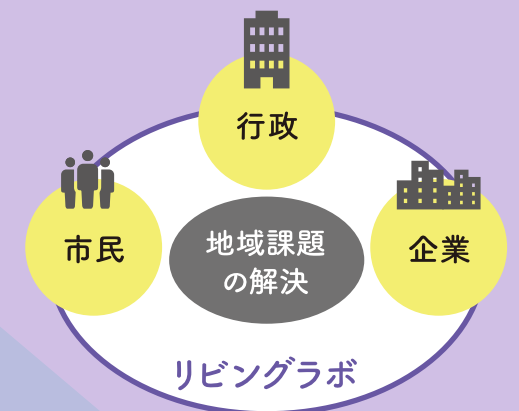


企業の方の参画にあたってのお願い

リビングラボは、新しいビジネスの芽を探り、生み出していく場です。
ただし、「ビジネスのためだけの場」ではなく、市民、行政、企業が協力して「地域課題の解決策を探る場」です。

そのため、下記をご理解、ご協力いただき、ご参画ください。

- 参加することで行政や地域関係者の購入の確度が上がるなど、営業に直結する場ではありません。
- 「企業の知りたいことを知る」だけでなく、住民の多様な声を聴き、共に考えるプロセスにご参加ください。
- 対話には、個人としてご参加ください。オブザーブのみの参加はしないでください。
- 対話の場で出された意見やアイデアは公的なものとして扱います。



企業の方の参画プロセス

新しく開発したいテーマの
持ち込みは歓迎です!

地域には多様な課題があり、新しいアイデア
が求められています。提案を歓迎しています。

市、ファシリテーターと
進め方を設計します。

地域にも企業にも意味のある
場となるよう設計します。

場に参加し、理解を深め、
可能性を探ります

対話の中で、企業からの説明や試
行の機会を組み込み実施します。